

平成30年度 第4回いなべ在宅医療・介護連携研究会を開催しました

テーマ 『実践例から学ぶ、現場で使える医療と介護の連携 Part6』

●日 時：平成31年1月18日（金）

19：30～21：00

●場 所：員弁コミュニティプラザ

●参加者：118名

司会：山本委員（ブーケ）

佐藤委員（ほくせい調剤薬局）



“Part6”の今年度最後の研究会は“特別養護老人ホーム”における他職種支援の事例を通して、各専門職のアセスメントから取り組み実践・振り返りのサイクルについて考えました。

これまでの、研究会を通して、実践事例も意見交換会も、ますますパワーアップしています!!
皆さまのアンケート結果からも、「連携」が進んできたと実感されている方も増えてきています!!



実践事例報告の感想

- * 特養さんの実情を知る機会はありませんでしたが、良い機会となりました。
- * 本人の希望を最大限事業所全体でかなえようと、それぞれの職種の強みを発揮していたことが良かった。
- * 特養での対応や連携の方法がわかりやすかったです。
- * 個人に対して各職種が適切なアセスを行っていても、関わる者たちが情報共有していなければ、連携はうまくいかないということが再確認でき良かった。
- * 施設でも外出支援されている。嬉しいです。施設も悪くない。

1. 実践事例

『自宅以外の在宅支援“特別養護老人ホーム”における多職種支援～アセスメントから考察までのサイクルを目指した取組実践～』

報告者 特別養護老人ホーム アイリス

総合サービス管理室副室長

（介護福祉士・介護支援専門員）川瀬 真理さん

介護支援専門員（介護福祉士）岩坂 純子さん

看護主任（認知症看護認定看護師）島村 真美さん

管理栄養士

辻 紫さん



2. 意見交換会

『「連携って何?」「協働って何?」何をイメージしますか?』

「連携」について考え方や思い、困っていること等

意見交換会の感想

- * 今まで「連携・協働」について具体的に考えたことがなく、良い機会になった。
- * 「連携」「協働」の定義について考え方を共有できたことは有意義であった。
- * 連携と協働がよくわかった意見交換となりました。話し合うことは本当に良いことだと思います。
- * それぞれの専門家が、何を大切に、どのように考えられているのか、生の意見が聞けるとても貴重な時間になっています。
- * 他職種の活動や思いを聞くだけでも勉強になった。
- * 他職種との意見交換はとても良いと思います。強化してほしいコーナーです。